

【稼働監視システム】



Webシステムのため
特別な環境やソフトが無くても
どこからでも操作ができます。



機械稼働状況

スマートホンやタブレットでも可能です。

大型ディスプレイでのマルチ表示も可能です。

稼働状況を可視化することにより、空き時間や稼働率のばらつきを把握することができるため、経営資源の有効活用を図ることができる。



機械監視

機械状況をリアルタイムに表示

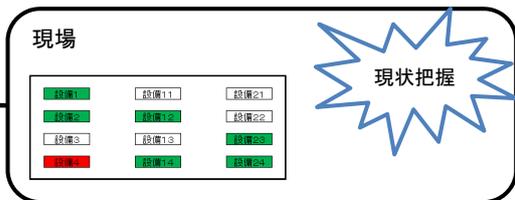
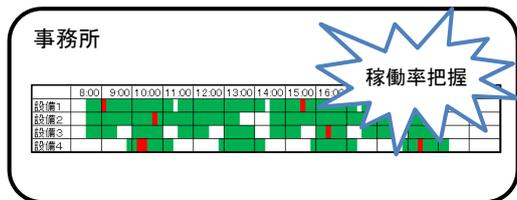


全体図

IoTシステム（光センサーによるシグナルタワー検知）を設置することによりWiFi経由で稼働情報を収集し、装置ごとの時系列の稼働率や計測時点での接続設備の稼働状況を把握する。



WiFi



稼働監視システム

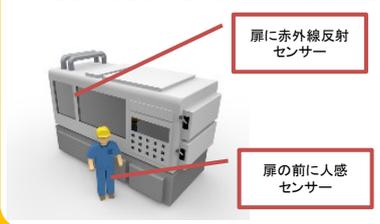
生産管理システム

経営層(連携後)

顧客別の利益率把握

段取時間の収集 (オプション)

扉の開閉と作業者を感知することで段取時間の把握が可能



概要

- ・新旧の設備稼働状況の把握が業務課題
- ・メーカー主導のものだと限られた設備にしか対応できない。
- ・どの設備でも設置可能なシグナルタワーなどの活用している。
- ・ラズベリーパイで構成したため、汎用的に対応できるものになった。

機能

- ・各色情報を1分間隔で収集

